

# ある挑戦！

2学期が始まって間もないころ、昆虫が好きな児童が、ある昆虫の幼虫を見て欲しいと理科室にやってきました。



表面に腐葉土がたくさんついていて、見た目はコガネムシの幼虫に見えますが…。

その児童の話によると、これはカナブンの幼虫なのだから。今は小さいのですが、成長するとカブトムシ以上に大きくなるそうです。



体についている腐葉土を取り除くと、幼虫の様子がよくわかります。

ところで、子どもたちが「カナブン」と言ってよく捕らえてくる昆虫の多くはカナブンではなく、ドウガネブイブイと呼ばれる甲虫です。緑色の金属光沢を持つ甲虫という点では似ています。でも、カナブンの方が大きく、体が角ばっていて、体全体に強い金属光沢

があり、光り輝いています。ドウガネブイブイはカナブンより小さく、体は丸みを帯びていて、ツヤツヤ感がありません。

住んでいる場所や食べ物も違います。ドウガネブイブイの成虫は庭木や野菜の葉を、幼虫は野菜や草花の根を食べるので、都会なのだけれどもちょっとした緑もある、といったような環境で生きていけます。校内でも見かけることは多いです。

一方、カナブンは主に雑木林にいます。成虫は樹液を、幼虫は腐葉土を食べています。そのためか、大きな都市公園ならともかく、都会で見かけたことはほとんどありません。

この児童によると、カナブンの幼虫を飼育することはカブトムシの幼虫を飼うよりも難しいのだとか。

カナブンの幼虫の飼育という新たな挑戦。素晴らしいですね。

無事に成虫になることを願っています。